

令和5年度 自己評価

学校法人カトリック学園
認定こども園 カトリック明野幼稚園

1. 園の教育目標

神の愛に満ちた良心を育み、モンテッソーリ教育による意欲的に挑戦し、喜んで学べる子どもを育てる
幼稚園教育要領で示されている「幼児の終わりまでに育てほしい姿」に取り組む

2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標

園生活の中でいろいろな人と触れ合い、関わりを深めるために、自分の思いや感情を自分なりの言葉で伝え、
友だちの思いにも気づき、思いを共感できるようになる。教師はこどもからの言葉を待ち、思いを整理し、互
いが共感できるように配慮する。

友だちと遊んだり、行事を楽しむ中で、一緒に協力したり、工夫したりして、充実感や達成感を味わう。

子ども達の目標 ありがとう、いいよ、はい！

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み内容	自己評価	評価
教育課程	<ul style="list-style-type: none">・認定こども園の状況を踏まえた教育目標・重点目標の設定・年間指導計画の作成・職員間の子どもに対しての共通理解・各クラス・各横割の運営	各担当で話し合い年間指導計画、アプローチカリキュラムの作成を行った。 話し合った内容を記録し、参加していない職員にも共通理解ができるように工夫した。 各担当で指導計画をもとに話し合い、保育を実施した。	B
研修 (資質向上の 取り組み)	<ul style="list-style-type: none">・教育の質の向上を図る・園内研修・園外研修	私立幼稚園連合会教師研修大会の発表のため、教職員皆で研究に取り組んだ。 昨年に比べ、研修報告をすることができた。 コロナ禍が明け参加できる研修も増えた。	A
教育環境整備	<ul style="list-style-type: none">・施設整備の安全、維持管理の為の整備・遊具・用具・図書の整備	安全管理リーダー、防災管理リーダー、各クラスの担任が定期的に遊具や設備の点検をした。 図書の整備をし、子どもたちにも本の扱いについて話をした。	B
食育の充実	<ul style="list-style-type: none">・食物の観察と収穫(さつまいも)・栄養士から食育指導を受ける	園の畑でさつまいもを年長児が植え栽培し、観察、収穫をした。 栄養士から食育指導を受け、毎日の献立表に子どもにわかりやすいように栄養素を表示したことにより、関心が高まった。	A

特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育の理解を深める ・ 該当児に対しての個別の配慮 ・ 医療・福祉などの関係機関との連携 ・ 家庭との連携 ・ 療育施設への見学 	<p>特別支援関係の研修に出席し、特別支援における質の向上を図った。</p> <p>気になる園児に対しては発達支援機関と密に連絡をとり、対応を協議した。</p> <p>職員、保護者、支援機関との話合いの場を設け、実施した。</p> <p>記録を取るよう努めた。</p> <p>実際に子どもの様子を見てもらい、保護者と今後の保育について話あった。</p>	A
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て相談の実施 ・ 未就園児登園の実施 ・ 子育て情報の提供 ・ 保護者による読み聞かせサークル 	<p>未就園児を対象につぼみ保育を実施した。</p> <p>園庭開放を行い、子育てや就園についての相談に応じた。</p> <p>保護者による読み聞かせサークルを実践した。</p>	B
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミルク献金 ・ 世界子ども助け合い献金 ・ 能登半島地震 献金 	<p>定期的に献金をつのり、シスターを通してネパールの子どもたちへ届けた。</p> <p>昨年度に比べ協力してくださる家庭が減ってきているように感じる。</p> <p>来年度は子ども達への声掛けを増やしたり献金箱を配布したりし、協力者を増やしていきたい。</p>	B
保健管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭や医療機関等の連携 ・ 日常の健康観察、疾病予防 ・ 健康診断 ・ 事故等の緊急事態発生時の対応 ・ 職員の健康管理 	<p>感染防止の為、園児・職員の日々の体温・体調を記入し管理を行った。</p> <p>学校薬剤師が定期的な検査を行い、園内の衛生管理を行った。</p> <p>内科・歯科の検診を行った。</p> <p>けが、体調不良などを把握するために、所定の用紙に記入し、終礼時に職員へ周知した。</p> <p>毎年夏に職員の健康診断を行っている。</p>	A
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校防災計画等の作成、実施 ・ 危機管理マニュアル等の作成、活用 ・ 安全点検、教職員の安全対応能力の向上 ・ 学期に一回の交通安全教室の実施 ・ 安全運転管理者講習への参加 	<p>避難訓練を毎月行い、引き渡し訓練を行った。研究発表のテーマが避難訓練だったので、訓練についての話し合いを何度も行い、さまざまな訓練方法などをためし取り組んだ。</p> <p>消防士や防災士の方に園に来ていただき、子ども達に話をしてもらった。</p> <p>交通安全教室を学期に一度開催し、子どもたちの安全意識を高めた。</p>	A

保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事における保護者参加 ・ 園だよりの発行 ・ 登園・降園時 	<p>学期に1度クラス懇談会を行った。</p> <p>今年度より、1学期・3学期に学年ごとの自由参観を行った。</p>	B
---------	--	---	---

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	<p>コロナ禍が明け、職員で話し合い工夫しながら行事を実施した。</p> <p>1学期、3学期に自由参観をはじめ、保護者にお仕事の様子を見ていただくことができた。</p> <p>避難訓練についての研究発表を行ったので、職員、子ども達の防災意識が高まった。</p>

評価結果の表示方法

A = 十分達成されている B = 達成されている C = 取り組まれているが、成果が十分でない

D = 取り組みが不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
特別支援	各支援機関、保護者との情報共有がもっとできるように連絡を取り合う。保護者との面談を増やす。
職員会議	職員会議の効率化。

施設関係者評価 (年長保護者代表 2名 第三者委員 1名)

保護者アンケートの集計を受けてのコメント

1	園児について	<ul style="list-style-type: none"> ・園に行く事を楽しみにしている、また今日あった出来事を家で保護者に話している点は園児の成長の一部として欠かせない面だと考えられます。保護者もきっちり朝食を済ませてから送り出しておりコミュニケーションがとれています。 ・年々改善されていてとくに私は困ることはなかったです。たんぽぽさんやCさんの保護者の方はわからないことが多いかもしれないので、クラスごとにラインがつかえたら先生に質問しやすいかもしれません。 ・スマートフォンやタブレットなどが家庭の中にある現代社会においてメディアコントロール等なかなか難しかったりすることが考えられ、その他の評価項目の平均点の中では一番低い値となったもののそれでも総合的にはルールを決め取り組むなど保護者の努力が感じられた。また、年少～年長と園に行く意欲は恐らく差があることも考えられるが、通っていくうちに友達ができ様々な経験を重ね、登園の喜びであったり、年上が年下へのいたわりの気持ちや年下が年上への憧れ、羨望の気持ちをもつなど縦割り保育ならではの良い影響、効果として高い評価に結びついているよう感じた。
2	幼稚園について	<ul style="list-style-type: none"> ・個性を大切に集団生活の中で教育の取り組みが十分に成されている様に思います。また防犯・防災対策の評価も高い点に注目しています。 ・子ども達のことをよく考えてくれていてよかったです。とくにいうことはありません。 ・幼稚園においては園児一人一人の思いを尊重し、個性を大切にしてくれていることが、教職員の話、対応から高い評価いつながり、そこに高い食育教育防災防犯、安全管理の意識などが加わり、ほとんどの保護者が「入園してよかった」と評価している点が印象に残った。

学校評価アンケート・自己評価の結果を見てのご意見

<ul style="list-style-type: none"> ・一般教育だけではなく、積極性を重んじる行動や考え方、また他人を思いやる心を小さな年代から身につける教育も必要と考えます。園の運営において入園してよかった、職員の対応もよいとの評価項目が高い点は保護者としても安心して子どもを預けられるものと評価致します。 ・毎年アンケートを実施することはいいと思います。保護者の方も気になることがあると思うので、アンケート実施にともない気軽に記入することができると思います。これからもどんどん素敵な幼稚園になっていくといいですね。 ・学校評価保護者アンケートにおける高評価も、先生方の日頃の努力や教育目標への熱心な達成意欲と取り組みの賜物であることが非常によく伝わってきた。教育の質も高めるために常日頃から研究課題を深め学ばれていることに頭が下がるし、子どもたち一人一人の個性や気持ちを大切にするだけでなく、その子その子にある特性を見極め、成長を促す姿勢に感銘を受けた。家庭教育の中においては子どもからのことばを待つということが疎かになりがちとなり、つい答えを先回りして口に出してしまったりということがあるので、子どもが何を考え、どうしようとしているのかじっくりと待つこと、最後まで言葉を聞くことなどの姿勢は是非見習いたい。
